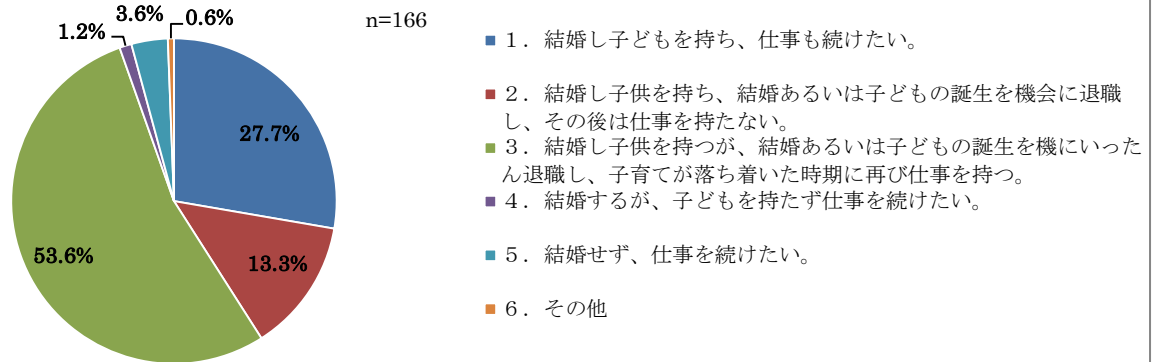
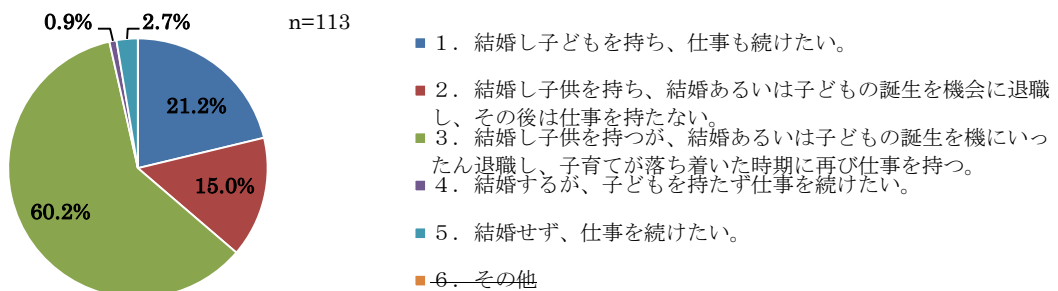


問 1 0 現実の人生と切り離して、あなたの理想とする人生はどのようなタイプですか。
次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

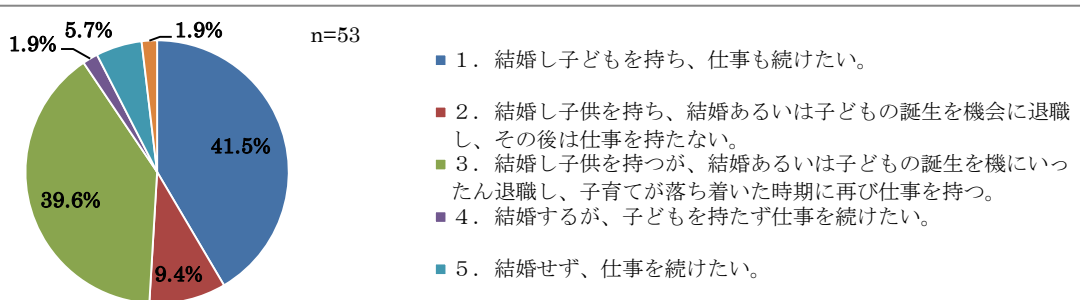


理想とする人生のタイプとして、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、子育てが落ち着いた時期に再び仕事を持つ」が 53.0%で、最も多く、次に「結婚し子どもを持ち、仕事を続けたい」が 27.7%となっている。「結婚をせず、仕事を続けたい」が 3.6%。

■既婚者



■未婚者



既婚者と未婚者と比較してみると、「結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい」という回答の割合が、未婚者のほうが 20.3 ポイント高く、41.3%となっている。一方、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、子育てが落ち着いた時期に再び仕事を持つ」が、既婚者のほうが 20.6 ポイント高く、60.2%となっている。

また、未婚者で「結婚せず、仕事を続けたい」と回答した方の割合が 5.7%となっている。

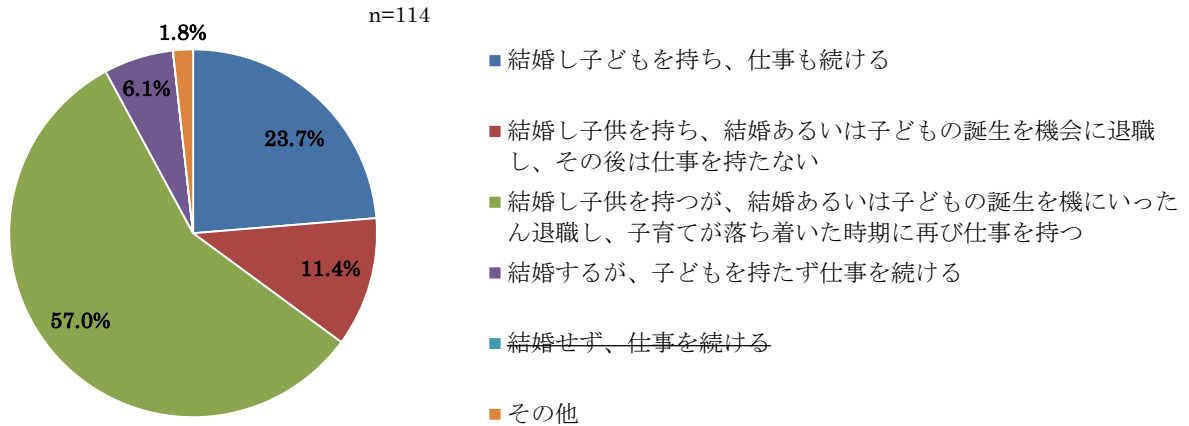
※その他

- ・結婚し子どもを持ち離婚し仕事をしている
- ・結婚し北海道に来るため退職して子どもを持ち、自営を手伝っている。
- ・結婚→子どもができて退職→離婚→再び仕事
- ・結婚し仕事を続けていたが、退職して現在妊娠中。今後復職予定。

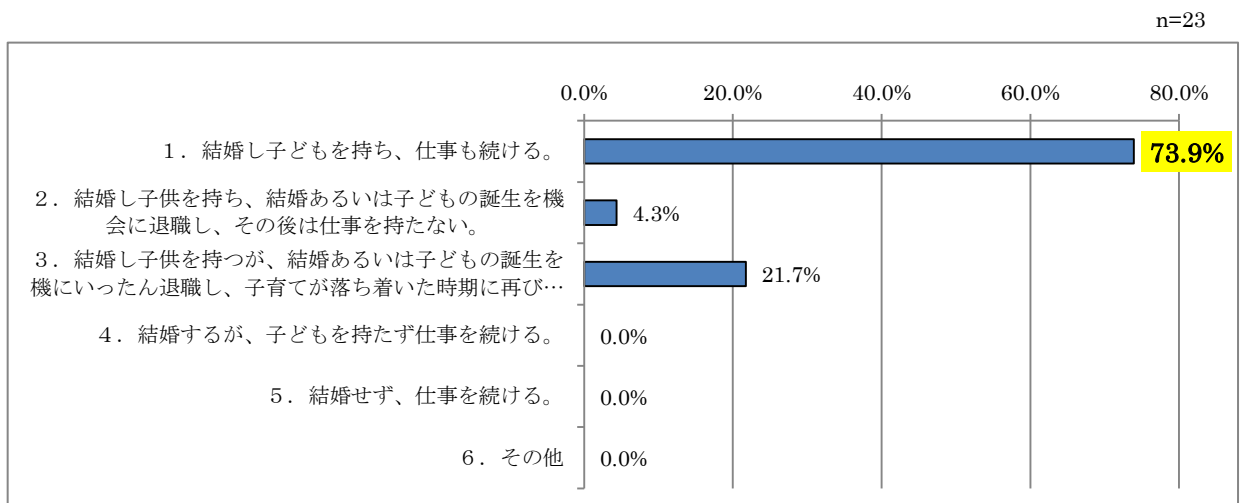
問 1 1 既婚の方にお聞きします。

現実的にあなたの人生はどのようなタイプですか。

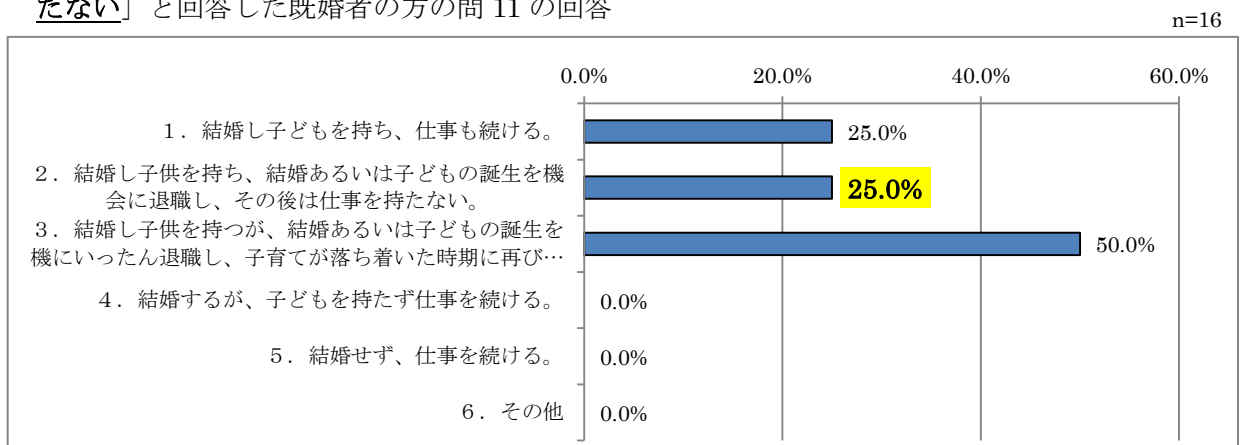
次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



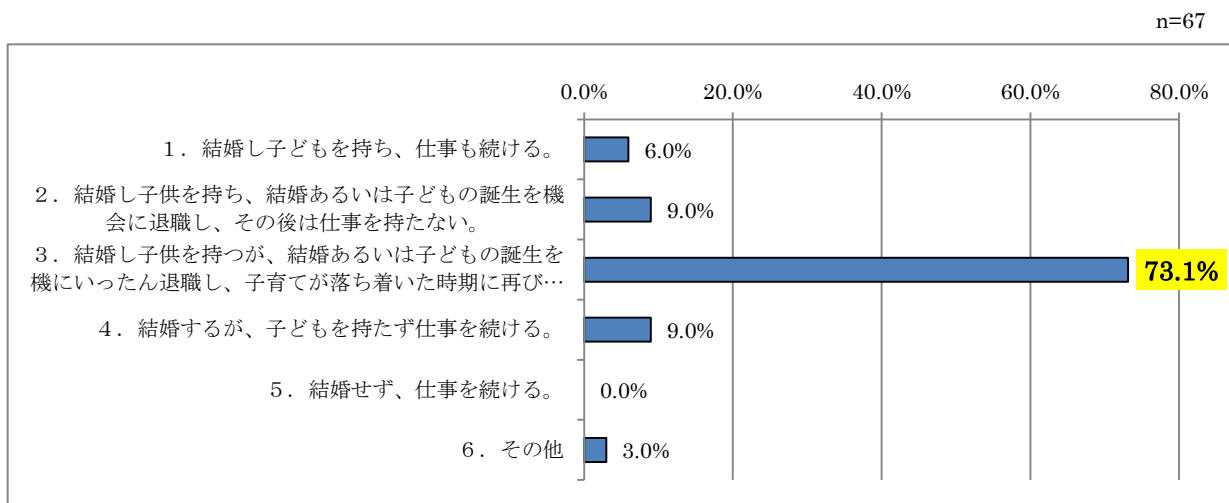
※問 10 で「1. 結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい」と回答した既婚者の方の問 11 の回答



※問 10 で「2. 結婚し子供を持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持たない」と回答した既婚者の方の問 11 の回答

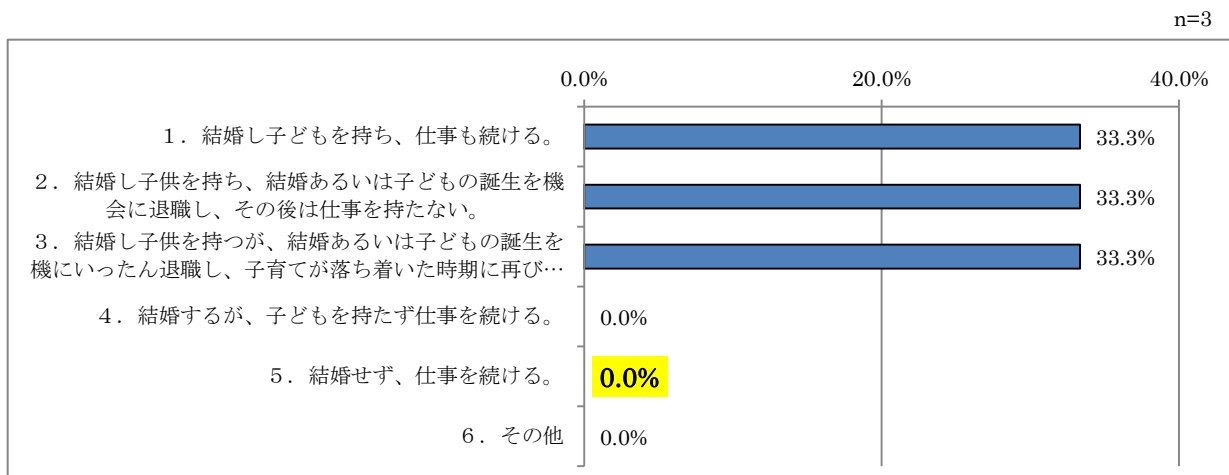


※問 10 で「3. 結婚し子供を持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機にいったん退職し、子育てが落ち着いた時期に再び仕事を持つ」と回答した既婚者の方の問 11 の回答



※問 10 で「4. 結婚するが、子どもを持たず仕事を続けたい」と回答した既婚者の方の問 11 の回答
 答 「4. 結婚するが、子どもを持たず仕事を続ける」 **100%** n=1

※問 10 で「5. 結婚せず、仕事を続けたい」と回答した既婚者の方の問 11 の回答

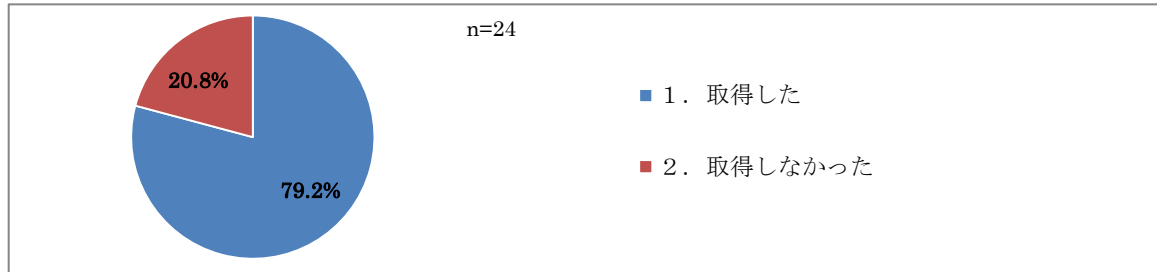


理想と現実でみると、35.5%の方が理想通りとなっていない。

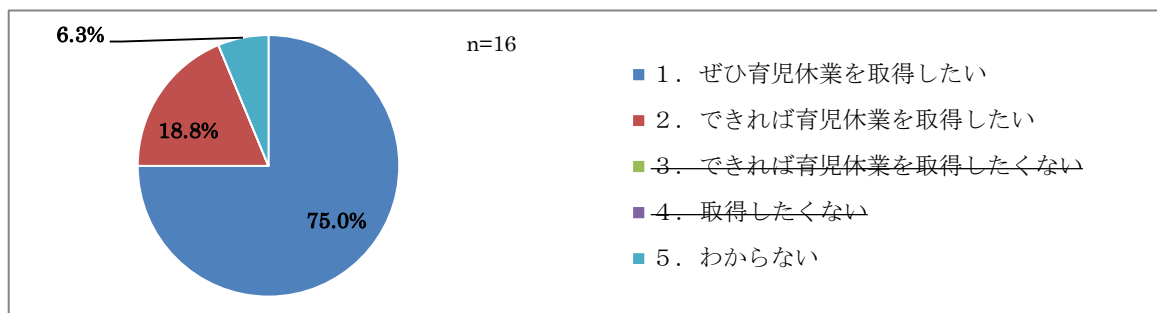
問 1 1 - 1 問 1 1 で、1 を選んだ方にお聞きます。

子どもが生まれたときに育児休業を取得しましたか、又はこれから生まれたときに取得したいと思いますか。次からあてはまる番号を選んで○をつけてください。

【これまでに生まれた子どもの時に】



【これから生まれる子どもの時に】

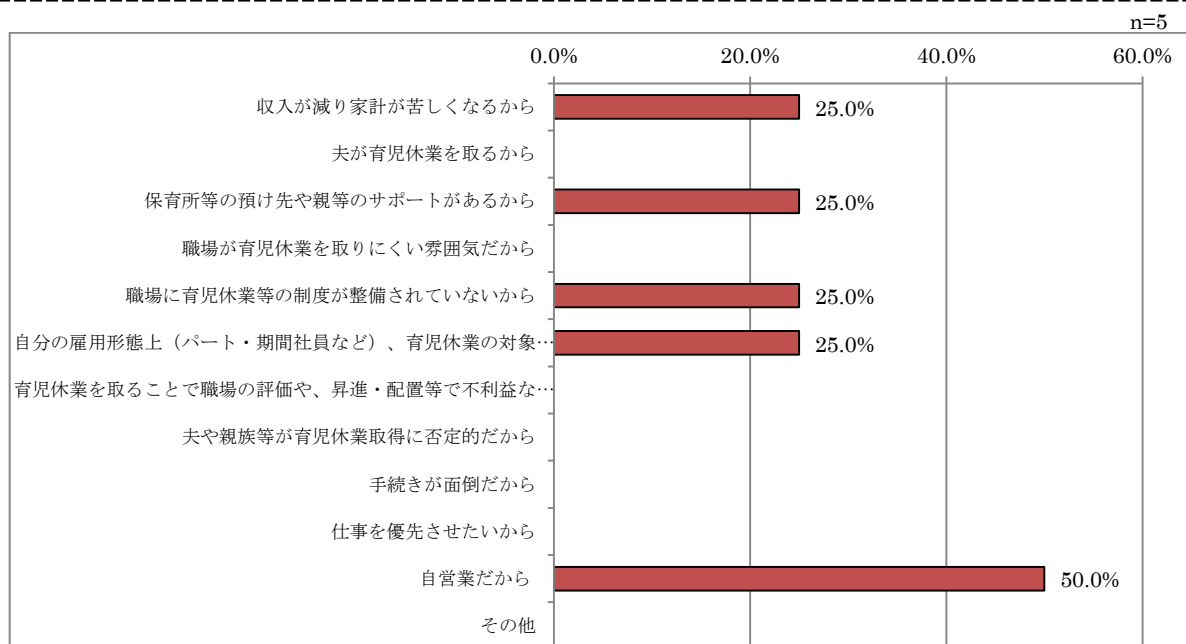


これまで約 8 割の方が育児休業を取得されており、これからも 9 割を超える方が取得したいと考えている。

問 1 1 - 2 問 1 1 - 1 で、「取得しなかった」または「できれば育児休業を取得したくない」「取得したくない」を選んだ方にお聞きます。

取得しなかった、又は取得したくない理由は何ですか。

次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

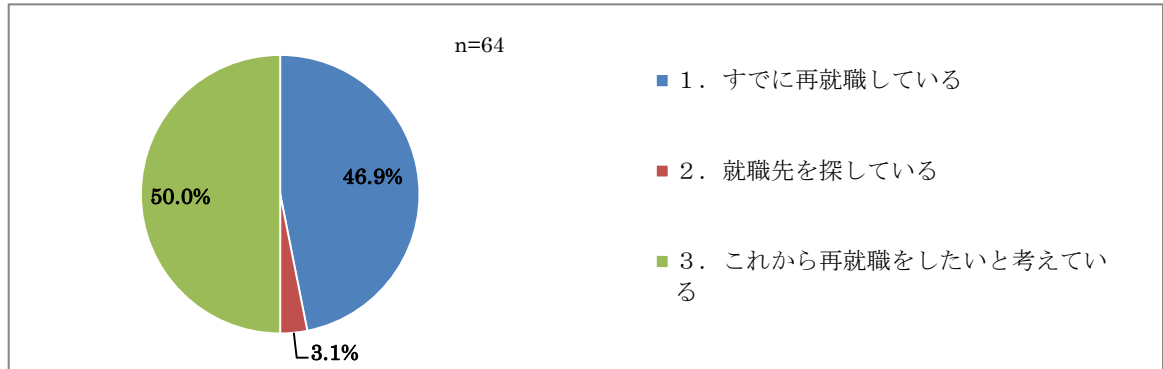


問 1 1 - 3

問 1 1 で、3 を選んだ方にお聞きします。

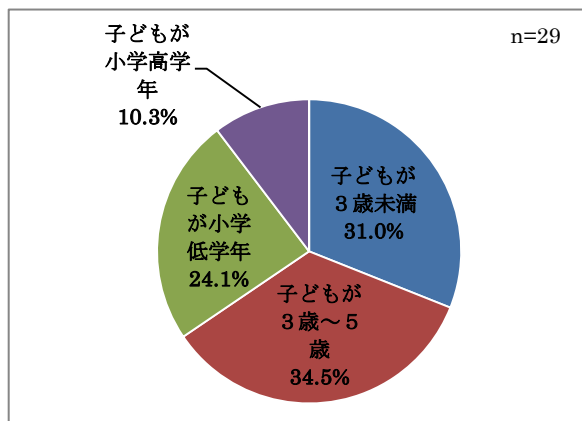
次の各項目で、それぞれあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

①再就職の状況

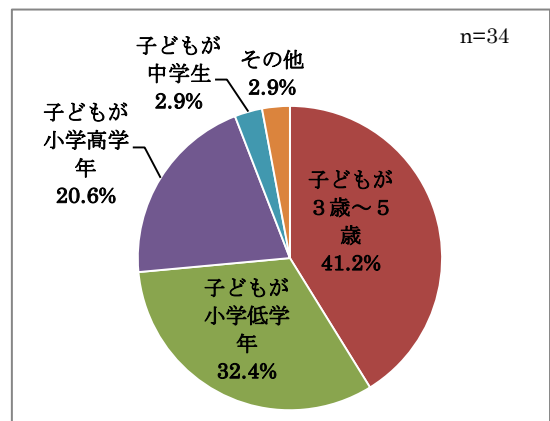


②再就職した時期、又は再就職したい時期

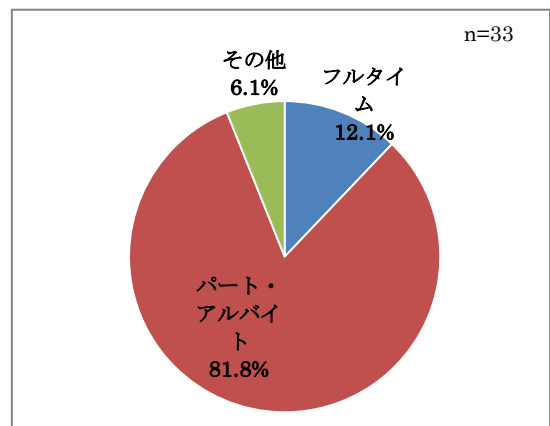
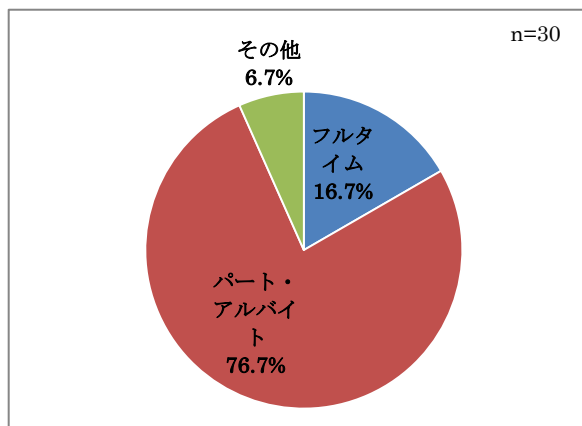
■ 1. 再就職している



■ 2・3 再就職希望



③現在の就労形態、又は希望する就労形態



再就職をしている、又は考えている女性の希望の時期は、「子どもが3～5歳」が約4割で、「小学校低学年」が約3割となっている。

また、希望の就労形態は、約8割の方が「パート・アルバイト」を希望している。

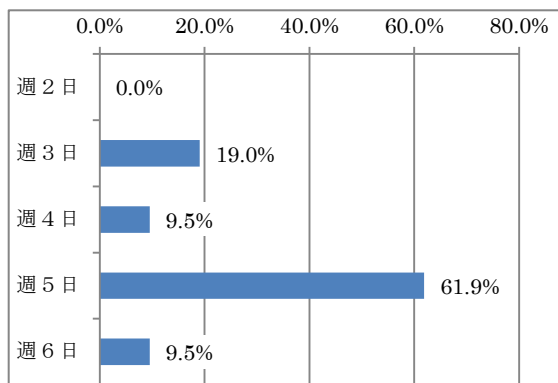
勤務日数と勤務時間では、「週5日」、「1日5時間」を希望される方が多く、約4割の方が「週5日1日4～6時間」の勤務を希望している。

再就職に必要な支援として、「就職等に関する情報提供の充実」を6割を超える方が回答している。

※③で「パート・アルバイト」を希望する方の勤務日数・勤務時間

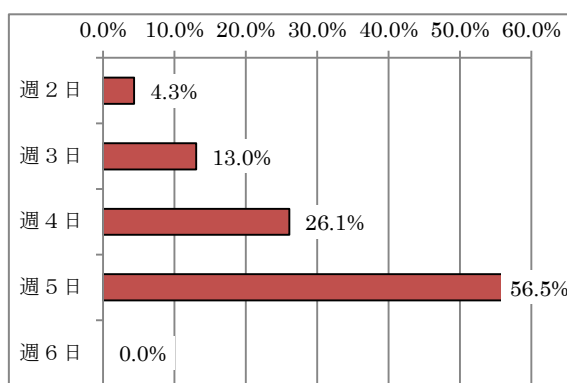
■ 1. 再就職している

n=21

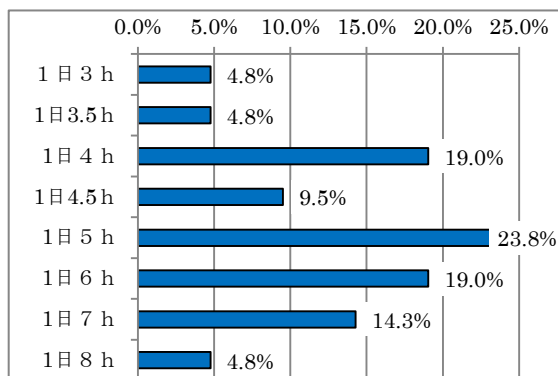


■ 2・3 再就職希望

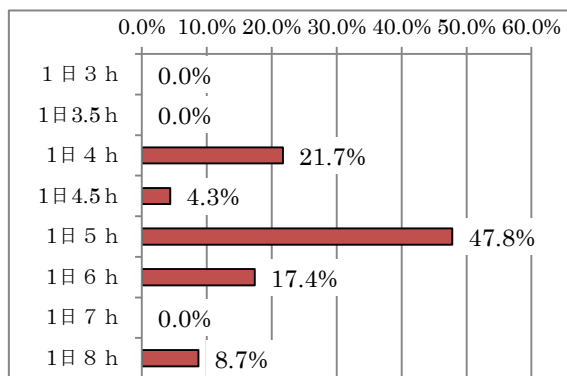
n=23



n=21

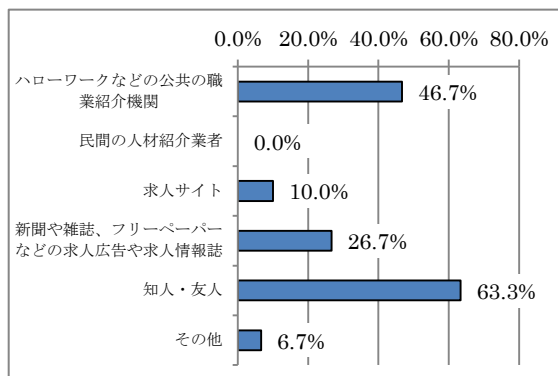


n=23

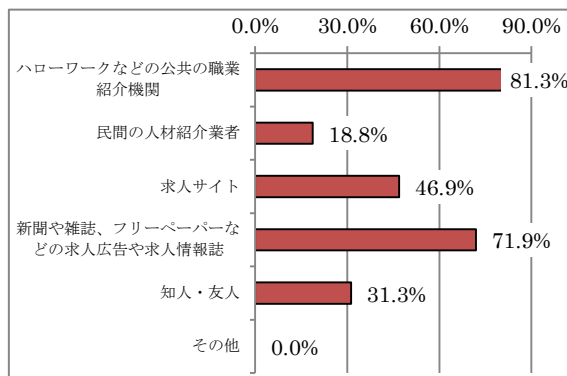


④再就職に必要な求人情報

n=30

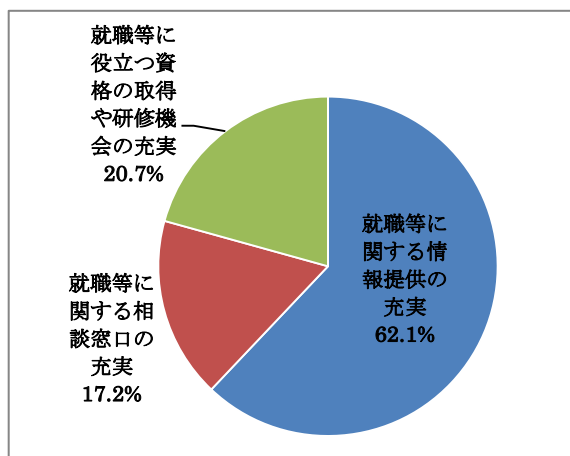


n=32

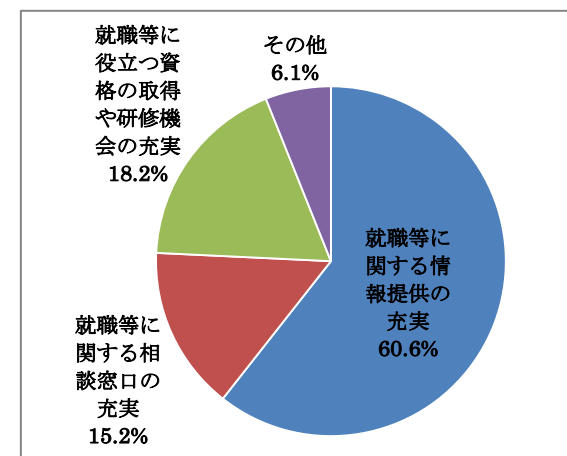


⑤再就職に必要な支援

n=29



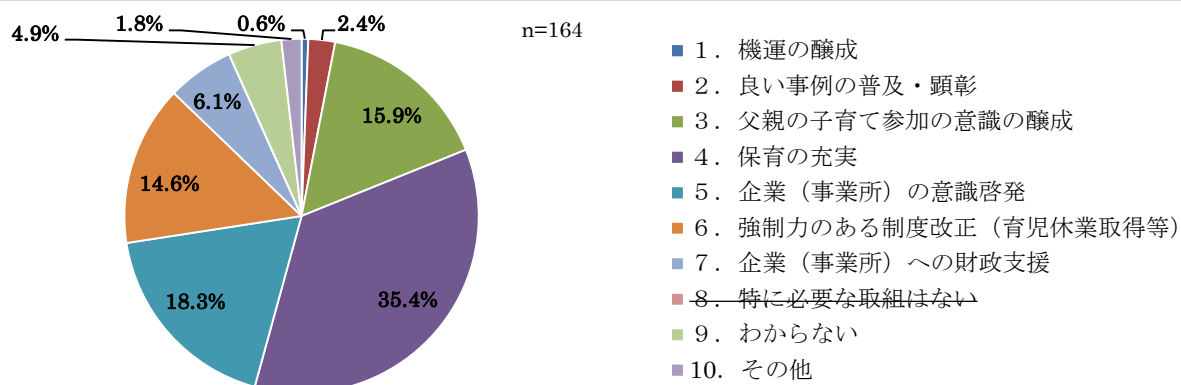
n=33



※その他

- ・情報や資格だけでなく、子どもが病気になっても仕事に行けるようサポートしてくれる施設や制度がないと難しい。
- ・子育て中なので、小学校の行事にあわせて早退させてくれる環境がある。

問 1 2 仕事をしながら子育てをするために必要な取組は何だと思いますか。
次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

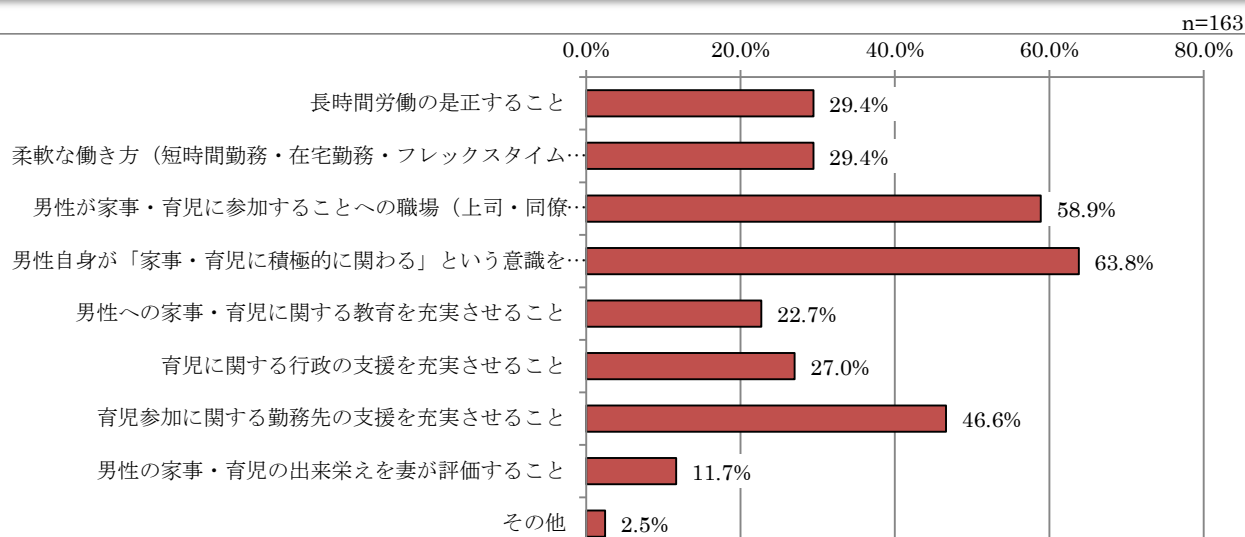


仕事をしながら子育てをするために必要な取組みとして、「保育の充実」が 35.4%で最も多く、次に「企業（事業所）の意識啓発」が 18.3%、「父親の子育て参加の意識の醸成」が 15.9%となっている。

※その他

- ・企業（事業所）への法的制度
- ・私たちが贅沢になり、無理をせず働けば良いと思う。
- ・栗山町ではそこまで保育所の問題がないように思いますが、子どものために取得できる休みなどの制度がない職場では実際働くのは難しいと思います。

問 1 3 男性の家事・育児の参加について何が必要だと思いますか。
次からあてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。



男性の家事・育児の参加に必要なこととして、「男性自身が「家事・育児に積極的に関わる」という意識を持つこと」が 63.8%で最も多く、次に「男性が家事・育児に参加することへの職場（上司・同僚等）の理解を高めること」が 58.9%、「育児参加に関する勤務先の支援を充実させること」が 46.6%となっている。

※その他

- ・男性は外で働くべき、社会を動かし国を支えるべし
- ・男女かわらず、一人ひとり、一人の人間なので押し付けたところで何もないです。いかに自分の家族が大事なものか考えてほしい。
- ・そもそも参加の必要性を感じない